77-20CD10I00220

TEAC

取扱説明書

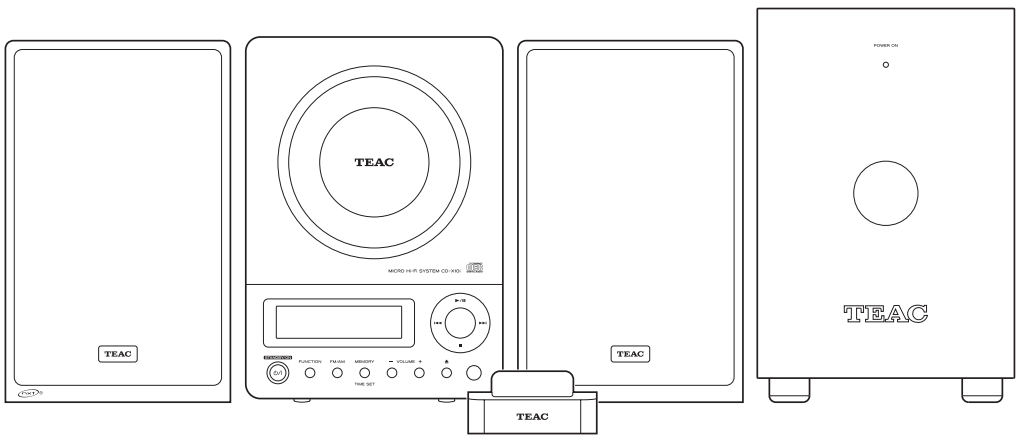
CD-X10i

iPod対応マイクロハイファイシステム

本製品には以下のiPod用のアダプタが含まれています。

iPod nano
ビデオ機能を搭載したiPod
iPod mini
クリックホイールを装備したiPod
カラーディスプレイを搭載したiPod

ドックコネクタとタッチホイールを装備したiPodを本機の
ドックに接続する場合は、市販のアダプタをお使いください。



ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目　次

お使いになる前に 2
安全にお使いいただくために 3
接続方法 6
壁に取り付けるには 8
リモコンの使い方 9
必ずお読みください・本機でiPodを使うには 10
コンパクトディスクについて 11
各部の名称 12

基本操作 14

iPodを聴くには 17

CDを再生するには 20
CDのプログラム再生 22
CDのリピート再生 24
CDのシャッフル再生 24

接続した機器の音を聴くには 25

ラジオを聴くには 26
放送局のプリセット 27

現在時刻の設定 28
タイマー設定 29

困ったときは 32
仕　様 34
保証とアフターサービス 35

nxt® はNew Transducers Ltd.の商標です。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはティアック株式会社CP部にご連絡ください。

リモコン(RC-1090)×1
リモコン用コイン型リチウム電池(CR2032)×1
ドック×1
ドックアダプタ×8(注)
ドック用カバー×1
サブウーハーケーブル×1
スピーカーケーブル×2
AMループアンテナ×1
壁掛け用ブラケット(本体用×1、スピーカー用×2)
木ネジ×10
プラグ×10
型紙×1
ステレオミニプラグケーブル×1
取扱説明書(保証書付き)×1
簡単接続ガイド×1

注：出荷時は60GB (color)+Photo 40GB/60GBがドックにセットされています。

使用上の注意

● 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。故障の原因となります。

● 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

● 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

● テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

● 本体のSTANDBY/ONスイッチがスタンバイのときは、待機電力が消費されます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

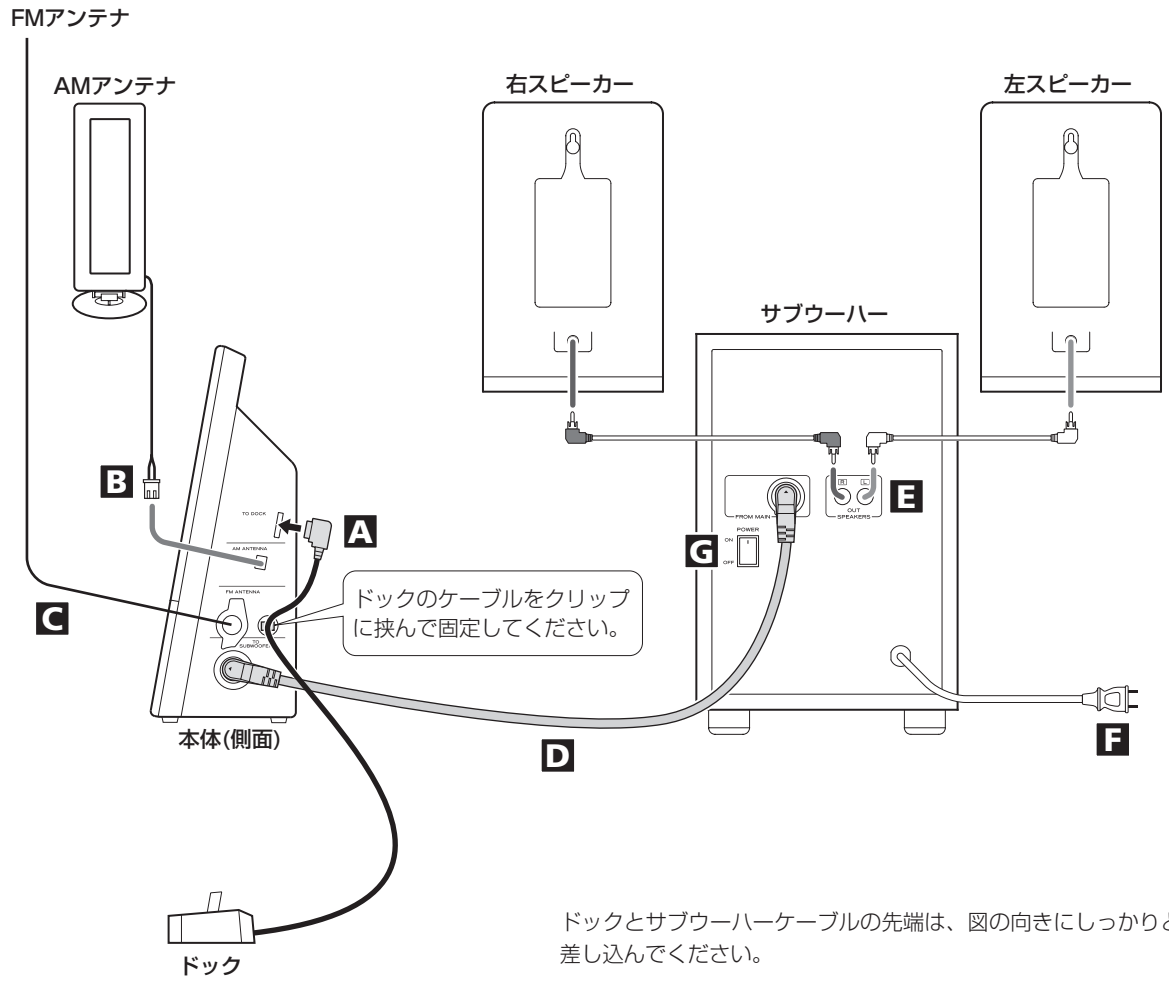
⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。**
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近付けない。** コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

接続方法



ドックとサブウーハーケーブルの先端は、図の向きにしっかりと差し込んでください。

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

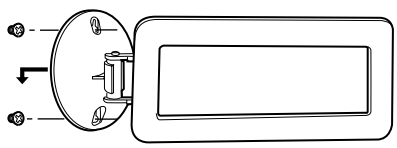
A iPodのドック

本体側面のTO DOCK端子に付属のドックを接続します。ドックのケーブルは、図の位置にあるクリップに挟んで固定してください。

B AMループアンテナ

本体側面のAM ANTENNA端子に付属のAMループアンテナを接続します。AM放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。

市販のネジを使って壁に固定することもできます。



C FMアンテナ

FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置に画鋲やテープなどで固定してください。

● アンテナは束ねないでください。

D サブウーハー

本体側面のTO SUBWOOFER端子と、サブウーハーのFROM MAIN端子を、付属のサブウーハーケーブルで接続します。
このケーブルは、サブウーハーから本体に電気を供給すると同時に、本体からサブウーハーへ音声信号を送ります。

E スピーカー

サブウーハーのスピーカー出力端子(SPEAKERS)と左右のスピーカーを、付属のスピーカーケーブルを使って接続します。白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

● 付属以外のスピーカーを使う場合は、インピーダンスが4Ω以上のスピーカーをお使いください。

⚠スピーカー以外のものは絶対に接続しないでください。

F 電源プラグ

電源プラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。ただし、サブウーハーの電源をオフにしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

G サブウーハーの電源スイッチ

サブウーハーの電源のオン/オフを切り換えます。

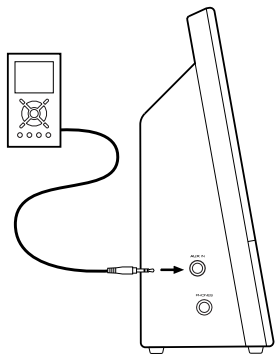
サブウーハーの正面にある電源インジケーターは、本体がオンのときは青、本体がスタンバイ状態のときはオレンジ色に点灯します。

本体をスタンバイにするとサブウーハーも自動的にスタンバイ状態になり、インジケーターがオレンジ色になります。

● サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。時計・タイマー・放送局のプリセットを消去したくない場合は、サブウーハーの電源は常にオンにしておいてください。

H 音声入力端子 [AUX IN]

携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子とこの音声入力端子を、付属のステレオミニプラグケーブルで接続すると、本機のスピーカーで音を聴くことができます。



壁に取り付けるには

本体とスピーカーを壁に取り付けることができます。

⚠注意

- ドックのケーブルは1m、スピーカーケーブルとサブウーハーケーブルの長さは約3mです。ケーブルが届く範囲でお使いください。
- 壁に取り付けると、スピーカーケーブル2本とサブウーハーケーブルが壁に露出することになります。
- 機器が落下すると、けがや破損の原因になります。取り付ける壁面の強度には十分ご注意ください。ネジがゆるんでいないか、定期的に点検してください。
- 取り付けに不安がある場合は、お近くの工務店などにご依頼ください。

1. 取り付ける場所を決める。

2. 付属の型紙を壁に当てて、ピンやテープを使って仮留めする。

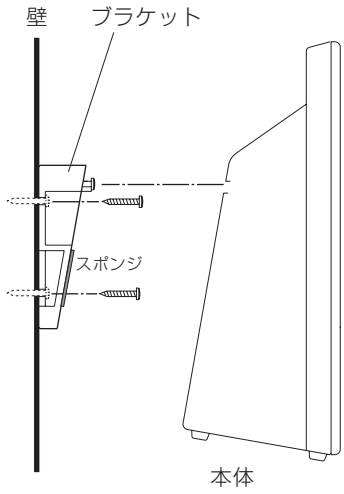
3. 穴を開ける位置に錐などを使って目印を付けてから、型紙を外す。

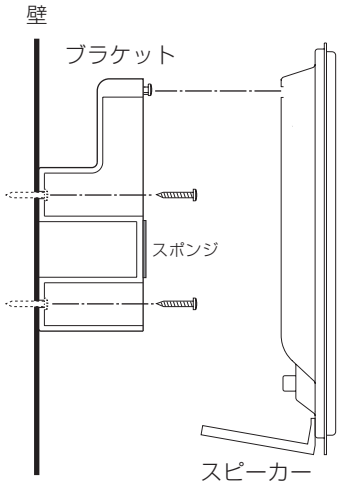
4. ブラケットを木ネジでしっかりと固定する。

ブラケットの向きに注意してください(右図参照)。緩衝用のスポンジが付いていない面を壁に向けてください。
コンクリートの壁に取り付ける場合は、ドリル等で下穴を開けて、付属の赤いプラグを埋め込んでから、木ネジをねじ込みます。

5. 本体、スピーカー、サブウーハーの接続が終わってから、本体とスピーカーを壁にかける。

本体とスピーカーの背面の穴を、ブラケットから出ているのネジの頭にしっかりとはめ込んでください。





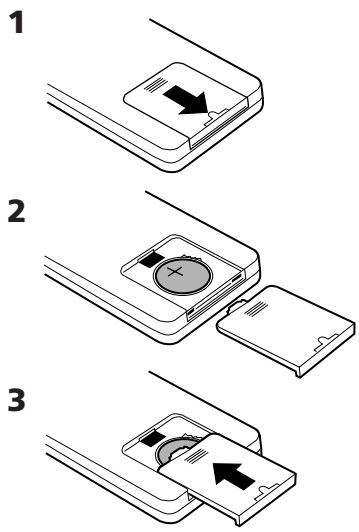
リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、コイン型リチウム電池(CR2032)1個を＋表示を上にして入れてから、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

小さなお子様があやまって電池を飲み込むと大変危険です。電池およびリモコンは幼児の手の届かない場所に置いてください。万一、お子様が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

必ずお読みください・本機でiPodを使うには

iPodのドックコネクタを使って本機を使用する場合は、本機のドックにドックアダプタをセットしてください。
出荷時は、カラーディスプレイを搭載したiPod(40GB、60GB)用のドックアダプタがセットされています。
それ以外のiPodを使用する場合は、以下の手順で適切なドックアダプタに交換してください。

1. ドックアダプタを外す。

アダプタの左右をつかみ、ゆっくり引き抜きます。

2. お使いのiPodに合ったドックアダプタを選ぶ。

Video 30GB
ビデオ機能を搭載したiPod(30GB)用

Video 60GB/80GB
ビデオ機能を搭載したiPod(60GB、80GB)用

nano
iPod nano用

mini
iPod mini用

20GB (color) + Photo 30GB
カラーディスプレイを搭載したiPod(20GB、30GB、U2 Special Edition)用

60GB (color) + Photo 40GB/60GB
カラーディスプレイを搭載したiPod(40GB、60GB)用

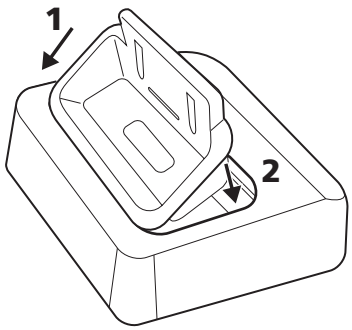
20GB + U2
クリックホイールを装備したiPod(20GB、U2 Special Edition)用

40GB
クリックホイールを装備したiPod(40GB)用

● ドックコネクタとタッチホイールを装備したiPodを本機のドックに接続する場合は、市販のアダプタをお使いください。

3. ドックアダプタを本機のドックに取り付ける。

ドックアダプタの前面を取付用の穴に合わせて差し込み、アダプタの後方を「カチッ」と音がするまで押し込みます。



● ドックアダプタを外す場合は、左右をつかみゆっくりと引き抜いてください。

● ドックを使用しない場合は、ほこりが本体に入らないよう、付属のドックカバーを取り付けてください。

iPod用ソフトウェア

お使いのiPodが本機の操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

iPodはApple Computer, Inc.の商標です。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクを再生できます。

・ レーベル面またはジャケットに以下のロゴが印刷された音楽用CD(8cmまたは12cm)

・ 音楽CDフォーマットで記録し、正しい方法でファイナライズされたCD-RまたはCD-RW
(ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください)

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

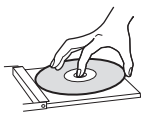
● CD-ROM、DVD、ビデオCD、MP3などは再生できません。

● コピーコントロールCDやDualDiscなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトデイスクの録音/再生は片面だけです)

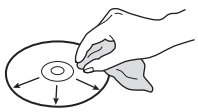
● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　ディスクの持ち方



● 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

● 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。



● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

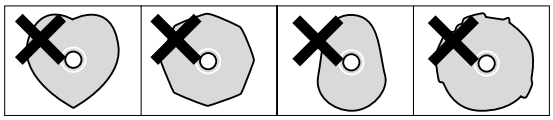
● レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 市販の8cmCD用のアダプターは使用しないでください。故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

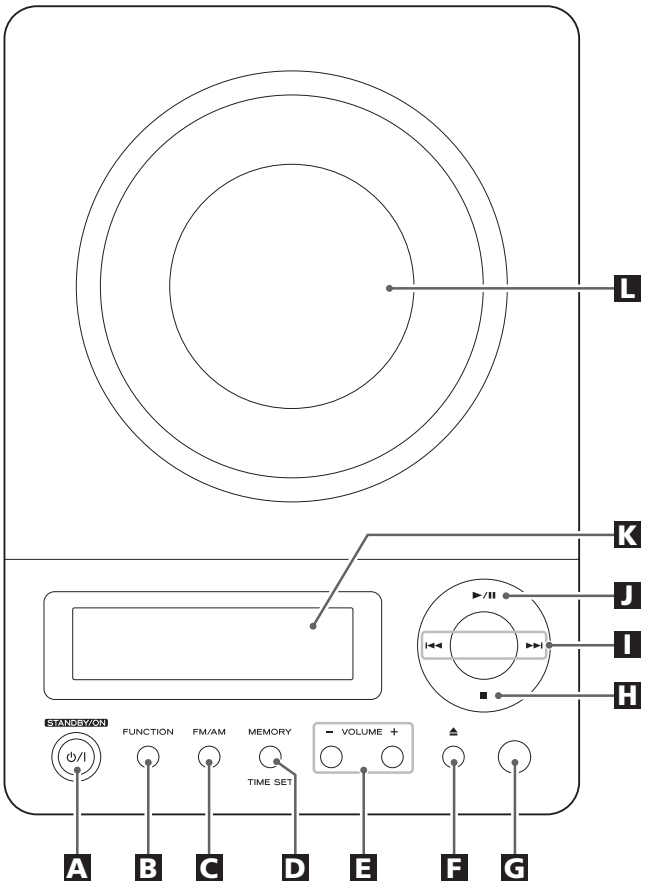
● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



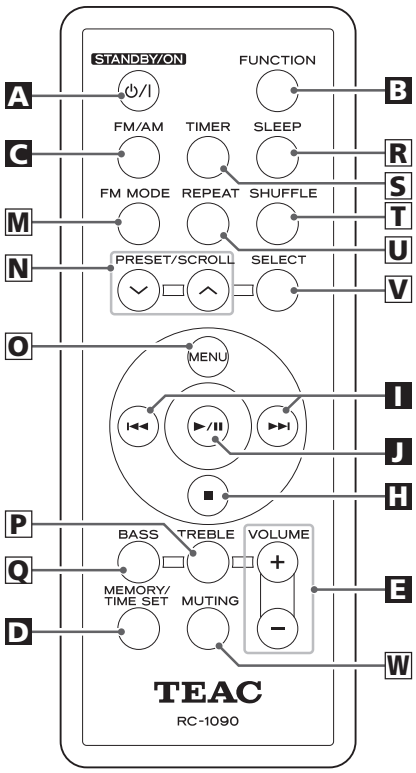
● CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

各部の名称

本体



リモコン



本体とリモコン

A 電源ボタン [STANDBY/ON] (⏻/I)
サブウーハーの電源がオンのときに、本体の電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

B 機能切換ボタン [FUNCTION]
このボタンを押すたびに機能が切り換わります。
iPodを聴くときはiPod、CDを聴くときはCD、ラジオを聴くときはTUNER、音声入力端子(AUX IN)に接続した機器の音を聴くときはAUXを選んでください。
(14ページ)

C FM/AMボタン
このボタンを押すたびにFMとAMが切り換わります。
(26ページ)

D メモリー/時刻設定ボタン [MEMORY/TIME SET]
機能切換がCDのときは、プログラム再生に使います。
(22ページ)
機能切換がTUNERのときは、放送局のプリセットに使います。(27ページ)
このボタンは時刻設定にも使います。(28ページ)

E 音量ボタン [VOLUME]
音量を調節します。＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。(15ページ)

F 開閉ボタン (⏏)
ディスクカバーを開閉します。(21ページ)
このボタンは、機能切換がCDのときしか動作しません。

G リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

H 停止ボタン (■)
CDの再生を停止します。(21ページ)
注意：機能切換がiPodのときは、動作しません。

I スキップボタン
機能切換がiPodまたはCDのときは、⏭を押すと次の曲にスキップし、⏮を押すと前の曲にスキップします。再生中に⏭を押したままでいると早送り、⏮を押したままでいると早戻しになります。
(18、21ページ)

機能切換がTUNERのときは、選局に使います。
(26ページ)

電源がスタンバイのときは、時刻設定とタイマー設定に使います。(28、29ページ)

J 再生/一時停止ボタン (▶/⏸)
iPodまたはCDを再生または一時停止します。
(18、21ページ)

K ディスプレー
再生時間、周波数など各種メッセージが表示されます。

L ディスクカバー
機能切換がCDのときに、開閉ボタン(⏏)を押すとカバーが開閉します。(21ページ)
カバーを手で開閉しないでください。故障の原因になります。

リモコン

M FMモードボタン [FM MODE]
FM放送の受信中にこのボタンを押すと、ステレオ受信とモノラル受信を切り換えます。(26ページ)

N プリセット/スクロールボタン [PRESET/SCROLL]
機能切換がTUNERのときは、プリセットした放送局の選択に使います。(27ページ)
機能切換がiPodのときは、メニュー画面のスクロールに使います。(18ページ)

O メニューボタン [MENU]
iPodのMENUボタンと同じ機能です。
機能切換がiPodのときにこのボタンを押すと、ひとつ前のメニューを表示します。(18ページ)

P 高音調節ボタン [TREBLE]
このボタンを押してから音量ボタンを押すと、高音を調節することができます。(15ページ)

Q 低音調節ボタン [BASS]
このボタンを押してから音量ボタンを押すと、低音を調節することができます。(15ページ)

R スリープボタン [SLEEP]
スリープタイマーの設定に使います。(16ページ)

S タイマーボタン [TIMER]
タイマー設定に使います。(29ページ)

T シャッフルボタン [SHUFFLE]
iPodまたはCDのシャッフル再生に使います。
(19、24ページ)

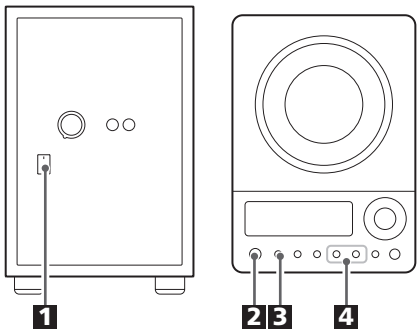
U リピートボタン [REPEAT]
iPodまたはCDのリピート再生に使います。
(19、24ページ)

V 選択ボタン [SELECT]
iPodの選択ボタンと同じ機能です。
iPodのメニュー項目の選択に使います。(18ページ)

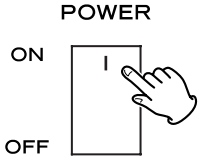
W 消音ボタン [MUTING]
一時的に音を小さくします。(15ページ)

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では主に本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

基本操作

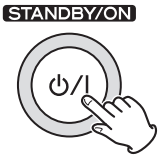


1 サブウーハーの電源スイッチ(POWER)をオンにする。



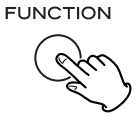
サブウーハーのインジケーター(オレンジ色)が点灯します。

2 本体の電源ボタン(STANDBY/ON)を押す。



本体がオンになり、電源ボタンが点灯します。
サブウーハーのインジケーターが青に変わります。

3 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、聴きたい機能を選ぶ。

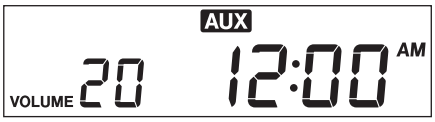


iPod
iPodを聴くときに選んでください。

CD
CDを聴くときに選んでください。

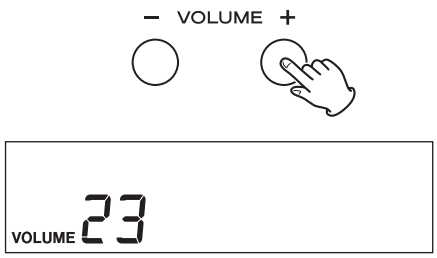
TUNER
ラジオを聴くときに選んでください。

AUX
AUX IN端子に接続した機器の音を聴くときに選んでください。



- iPodまたはAUXを選んだ場合、ディスプレーには時計と音量が常に表示されます。
- CDまたはTUNERを選んだ場合、時刻設定ボタン(TIME SET)を3秒以上押すと、ディスプレーに時計が数秒間表示されます。

4 音量ボタンを押して音量を調節する。

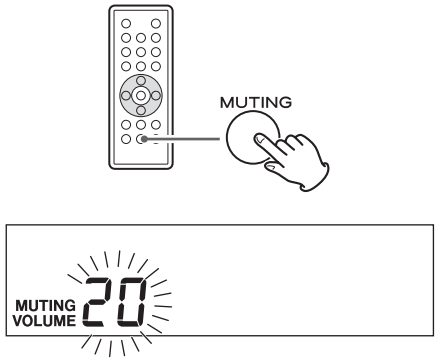


＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

- 本機を使わないときは、本体の電源ボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にしてください。
- サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。時計・タイマー・放送局のプリセットを消去したくない場合は、サブウーハーの電源は常にオンにしておいてください。

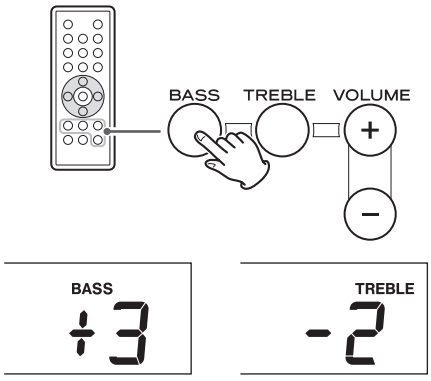
一時的に音を消すには（ミュート）



ミュートボタン(MUTING)を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート中は、ディスプレーの音量の表示が点滅します。
- ミュート中に音量ボタンを押すと、ミュートは解除されます。

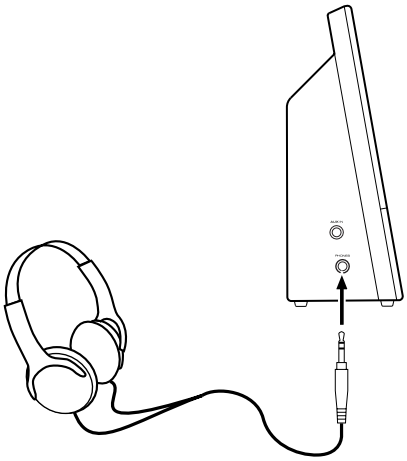
低音または高音を調節するには



低音を調節する場合は低音調節ボタン(BASS)、高音を調節する場合は高音調節ボタン(TREBLE)を押してから、5秒以内に音量ボタンを押してください。±5の範囲で調節できます。

基本操作（続き）

ヘッドホンで聴くには



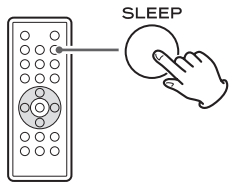
ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグ(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本体側面のヘッドホン端子(PHONES)に差し込み、徐々に音量を調節してください。

● ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。

● ヘッドホンの使用中は電源をオン/オフしないでください。ノイズが発生することがあります。

● モノラルのイヤホンは使用しないでください。故障の原因になることがあります。

スリープタイマー



電源を一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする機能です。スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、時間が変わります。

SLEEP 90、60、または30
90、60、または30分後にスリープします。

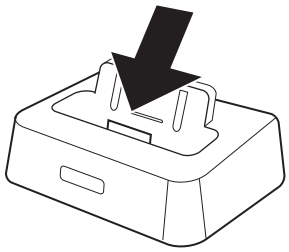
SLEEP 00
スリープしません。スリープ機能を使わないときに選んでください。

● スリープ中は、SLEEPインジケーターが点灯します。

● スリープ中にスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、スリープするまでの残り時間が数秒間表示されます。

iPodを聴くには

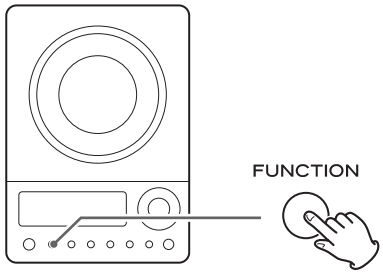
本機のドックにiPodをセットしてください。



iPodの再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、本機の電源が自動的にオンになり、再生を始めます。

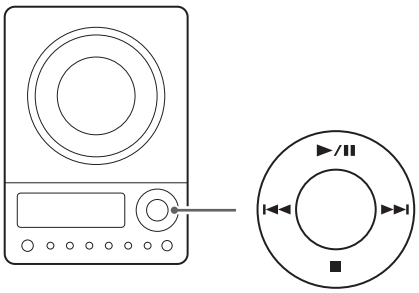
- 再生中のiPodをドックにセットした場合、本機の電源が自動的にオンになり、再生を始めます。
- お使いのiPodに合ったドックアダプタをセットしてからお使いください。(10ページ)
- 本機のドックにiPodをセットすると、本機が電源に接続されている間は常にiPodを充電します。充電が完了すると、充電を停止します。
- 本機の電源がオンのときは、ドックの正面のロゴが点灯します。
- ヘッドホンがiPodに差し込まれている場合、本機とヘッドホンの両方から音がでます。
- 停止ボタン(■)はCD専用です。機能切換がiPodのときは、動作しません。

機能切換をiPodにするには



FUNCTIONボタンをくり返し押して、「iPod」を選んでください。ドックにiPodがセットされていた場合は、iPodの再生が始まります。

iPodを聴くには（続き）



再生を一時停止するには

再生中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

好きな曲から再生するには（スキップ）

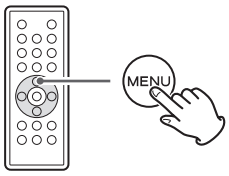
再生中にスキップボタン(►►I)を押すと次の曲にスキップし、スキップボタン(I◄◄)を押すと前の曲にスキップして再生します。希望する曲番になるまで、くり返し押してください。

● I◄◄ を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ を続けて押してください。

聴きたい部分を探すには（サーチ）

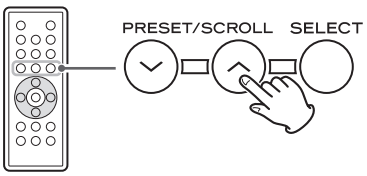
再生中にスキップボタン(►►I)を2秒以上押したままでいると早送り、スキップボタン(I◄◄)を2秒以上押したままでいると早戻しができます。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

前のメニューに戻るには



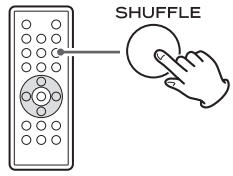
MENUボタンを押すと、ひとつ前のメニューを表示します。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶには



スクロールボタン(SCROLL)を使って項目を選び、選択ボタン(SELECT)を押してください。

シャッフル再生



再生中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すたびに、iPod側のシャッフル再生のモードが変わります。

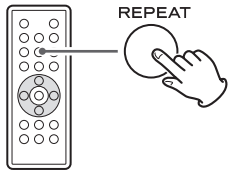
曲 → アルバム → オフ

「曲」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。

「アルバム」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

シャッフル再生中は、iPodのディスプレーに「 」が表示されます。

リピート再生



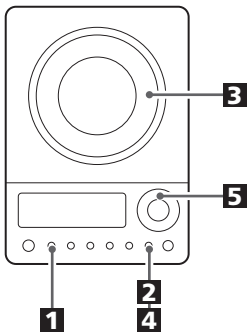
再生中にリピートボタン(REPEAT)を押すたびに、iPod側のリピート再生のモードが変わります。

1曲 → すべて → オフ

1曲だけリピートするときは、「1曲」を選んでください。
iPodのディスプレーに「 」が表示されます。

リスト内のすべての曲をリピートするときは、「すべて」を選んでください。
iPodのディスプレーに「 」が表示されます。

CDを再生するには

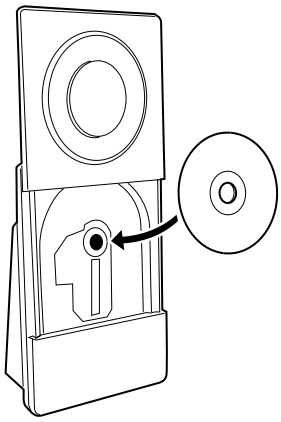


1 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、CDを選ぶ。

2 開閉ボタン(⏏)を押してカバーを開く。

● カバーを手で開閉しないでください。故障の原因になります。

3 ディスクをセットする。



レーベル面を手前にして、ディスクの穴をポールにしっかりとはめ込んでください。

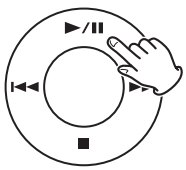
● ディスクの装着時および交換時は、本体が倒れないように手で支えてください。

● 機器の内部やレンズに手を触れないでください。故障の原因になります。

4 開閉ボタン(⏏)を押してカバーを閉じる。

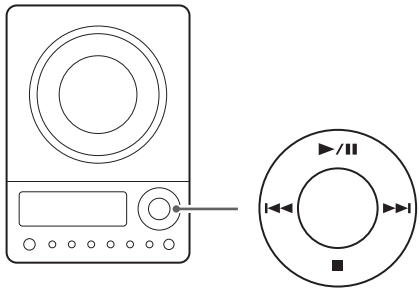
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。
- ディスクがセットされていないときは、「no cd」が表示されます。

5 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。



1曲目から再生が始まります。

- 全ての曲の再生が終わると、停止します。



再生を一時停止するには

再生中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

再生を停止するには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

好きな曲から再生するには（スキップ）

再生中にスキップボタン(►►I)を押すと前の曲にスキップし、スキップボタン(I◄◄)を押すと後ろの曲にスキップして再生します。希望する曲番になるまで、くり返し押してください。

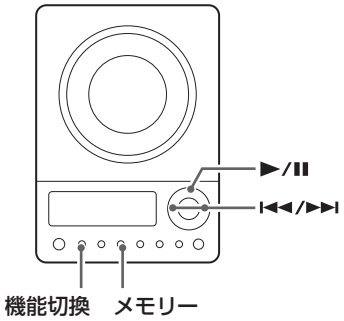
停止中は、I◄◄ または ►►I をくり返し押して希望の曲番を選んだあと、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと再生が始まります。

- 再生中は、I◄◄ を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより後ろの曲を再生したいときは、続けて押してください。

聴きたい部分を探すには（サーチ）

再生中にスキップボタン(►►I)を2秒以上押したままでいると早送り、スキップボタン(I◄◄)を2秒以上押したままでいると早戻しができます。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

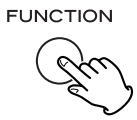
CDのプログラム再生



32曲までプログラムして再生することができます。

- プログラムする前に、ディスクをセットしておいてください。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

1 **機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、CDを選ぶ。**

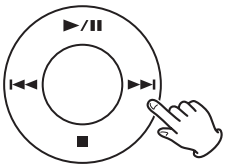


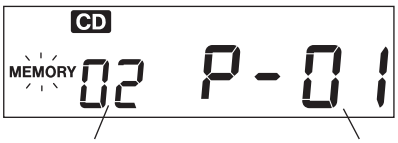
2 **メモリーボタン(MEMORY)を押す。**

MEMORY(メモリー)インジケーターが点滅します。

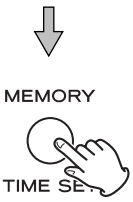
- 再生中はプログラムできません。停止ボタン(■)で再生を停止してから、メモリーボタン(MEMORY)を押してください。
- プログラムを中止したいときは、停止ボタン(■)を押してください。

3 **スキップボタン(I◄◄/►►I)を使ってプログラムする曲番を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。**





選んだ曲番　　プログラム番号



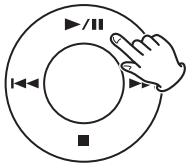
選んだ曲がプログラムされて、「P-02」(次のプログラム番号)が表示されます。

複数の曲をプログラムするときは、**2**～**3**をくり返してください。

- 32曲までプログラムできます。

4 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

プログラム再生が始まります。



● プログラムされた全ての曲の再生が終わった場合、または停止ボタン(■)を押した場合は、MEMORY(メモリー)インジケーターが消灯してプログラムモードが解除されます。

プログラムモードが解除されても、プログラムした内容は残っていますので、メモリーボタン(MEMORY)を押してから再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押せばプログラム再生することができます。

プログラムした内容を確認するには

停止中にメモリーボタン(MEMORY)をくり返し押すと、プログラムされた曲番とプログラム番号が順番に表示されます。

プログラムの最後に曲を追加するには

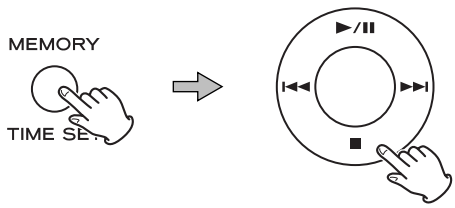
停止中に、ディスプレーに「－－」が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)をくり返し押してください。スキップボタン(I◄◄ / ►►I)で追加する曲番を選び、もう一度メモリーボタン(MEMORY)を押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラムを変更するには

停止中に、変更したいプログラム番号と曲番が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)をくり返し押してください。スキップボタン(I◄◄ / ►►I)で新しい曲番を選び、もう一度メモリーボタン(MEMORY)を押すと、プログラムが上書きされます。

全てのプログラム内容を消去するには

停止中にメモリーボタン(MEMORY)を押してから停止ボタン(■)を押すと、プログラム内容は消去されます。

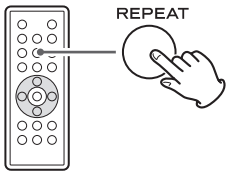


● 以下のボタンを押した場合も、プログラム内容は消去されます。

FUNCTION、FM/AM、STANDBY/ON

● 電源プラグを抜くと、プログラム内容は消去されます。

CDのリピート再生



リピートボタン(REPEAT)を押すたびに、リピート再生のモードが変わります。

REPEAT（1曲リピート）
↓
REPEAT ALL（全曲リピート）
↓
オフ（通常の再生）

● 以下のボタンを押した場合、リピート再生は解除されます。
停止(■)、OPEN/CLOSE(⏏)、FUNCTION、FM/AM、STANDBY/ON

1曲リピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中にスキップボタン(⏮ / ⏭)を使って他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

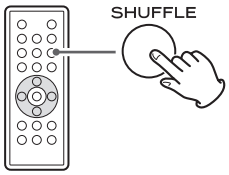
停止中は、リピートボタンを押してからスキップボタン(⏮ / ⏭)で曲を選び、再生/一時停止ボタン(▶/⏸)を押すと、1曲リピート再生を始めます。

1曲リピート再生中は、REPEATインジケーターが点灯します。

全曲リピート

ディスクの全曲をくり返し再生します。プログラム再生中は、プログラムした曲だけをくり返し再生します。
全曲リピート再生中は、REPEAT ALLインジケーターが点灯します。

CDのシャッフル再生



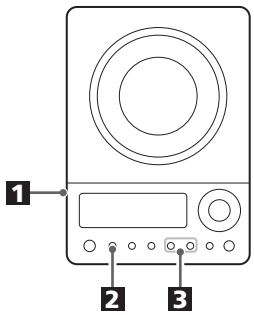
再生中または停止中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、ディスクの全曲をランダムに再生します。
シャッフル再生中は、SHUFFLEインジケーターが点灯します。

● シャッフル再生中にスキップボタン(⏭)を押すと、次の曲がランダムに選択されます。スキップボタン(⏮)を押すと、再生中の曲の頭に戻ります。シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。

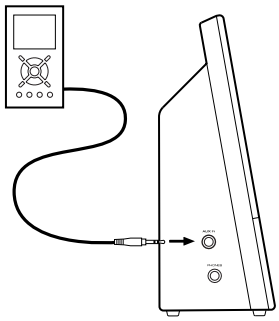
● プログラム再生中はシャッフル再生できません。

● 以下のボタンを押した場合、シャッフル再生は解除されます。
SHUFFLE、停止(■)、OPEN/CLOSE(⏏)、FUNCTION、FM/AM、STANDBY/ON

接続した機器の音を聴くには

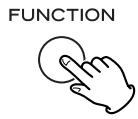


1 携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と本機の音声入力端子(AUX IN)を、付属のステレオミニプラグケーブルで接続する。



お使いのiPodにドックコネクタがない場合や、適切なドックアダプタがない場合は、この方法でiPodをお聴きください。

2 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、AUXを選ぶ。



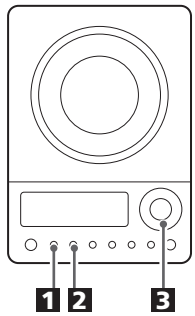
3 接続した機器で再生を始めて、音量ボタン(VOLUME)を押して音量を調節する。

＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

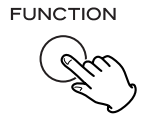
プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量も調節してください。ただし、プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがありますので注意してください。

音が歪む場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量ボタン(VOLUME)で適切な音量に調節してください。

ラジオを聴くには



1 **機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、TUNERを選ぶ。**

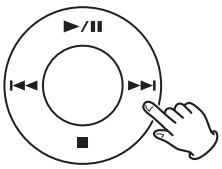


FM/AMボタンを使ってTUNERを選ぶこともできます。

2 **FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。**

FM/AMボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。

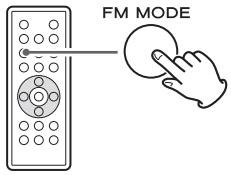
3 **スキップボタンを使って聴きたい放送局を探す。**



スキップボタン(I◄◄ または ►►I)を押して、ディスプレーの周波数表示が変わり始めたら指をはなしてください。
自動的に放送局を受信して周波数表示が止まります。聴きたい放送局が受信されるまで、この操作をくり返してください。
中断したい場合は、スキップボタンを軽く押してください。

- スキップボタンを軽く押すと、AMは9kHz刻み、FMは100kHz刻みで周波数が変わります。自動で受信できない放送局を聴きたい場合は、聴きたい放送局が受信されるまでスキップボタンをくり返し押してください。

FMステレオ放送のステレオ受信/モノラル受信の切換



FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

ステレオ受信

FMのステレオ放送をステレオで受信します。
FMのステレオ放送を受信すると、ディスプレーのSTEREO(ステレオ)インジケーターが点灯します。

モノラル受信

FMステレオ放送の受信状態が悪いときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えてみてください。

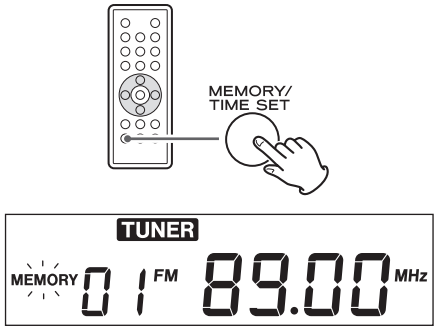
放送局のプリセット

よく聴く放送局を、FM10局、AM10局まであらかじめ記憶(プリセット)しておくことができます。

1 記憶させる放送局を受信する。

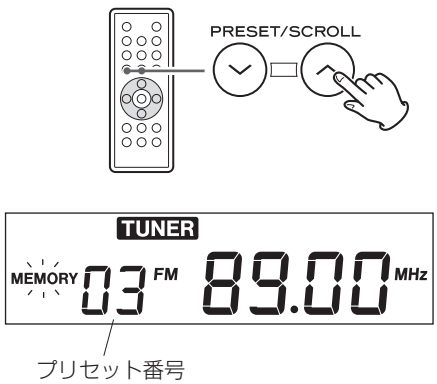
26ページの**1**～**3**の手順で受信してください。

2 メモリーボタン(MEMORY)を押す。

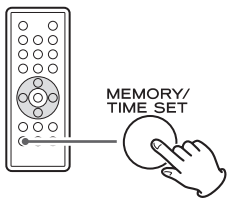


MEMORY(メモリー)インジケーターが点滅します。

3 5秒以内に、その放送局を記憶するプリセット番号をリモコンのプリセットボタン(PRESET)で選ぶ。



4 5秒以内にメモリーボタン(MEMORY)を押す。

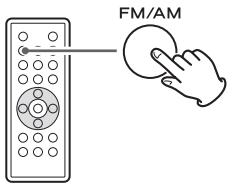


放送局が記憶されて、MEMORY(メモリー)インジケーターが消灯します。
複数の放送局を記憶させる場合は、**1**～**4**をくり返してください。

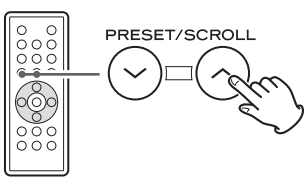
- 5秒以内に操作しないと、登録モードが解除されてMEMORY(メモリー)インジケーターが消灯します。その場合は**2**からやり直してください。
- サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

記憶した放送局を聴くには

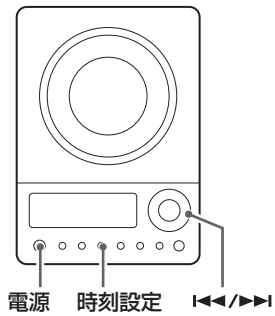
1. FM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。



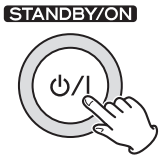
2. プリセットボタン(PRESET)を押して、記憶した放送局を選ぶ。



現在時刻の設定



1 本体の電源がオンの場合は、電源ボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にする。



2 時刻設定ボタン(TIME SET)を約3秒押す。

「12H(12時間)」または「24H(24時間)」が点滅します。12時間表示と24時間表示を切り換える場合は、スキップボタン(I◄◄/►►I)を押してください。

● 7秒以上放置すると、時刻設定モードは解除されます。その場合は**2**からやり直してください。

3 時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。

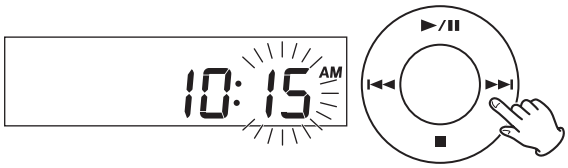
「時」表示が点滅します。

4 スキップボタン(I◄◄/►►I)を押して「時」を合わせる。

5 時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。

「分」表示が点滅します。

6 スキップボタン(I◄◄/►►I)を押して「分」を合わせる。

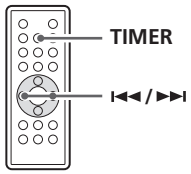


7 時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。

時計がスタートします。

● サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

タイマー設定



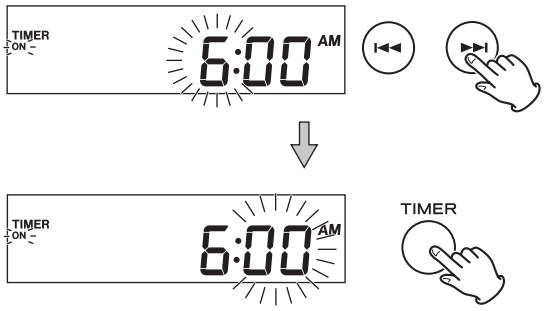
タイマーを設定する前に、時刻を設定してください。
(28ページ)

1 タイマーボタン(TIMER)を約2秒押して、表示が変わったら指をはなす。

TIMER(タイマー)インジケーターが点灯し、ON(オン)インジケーターと「時」表示が点滅します。

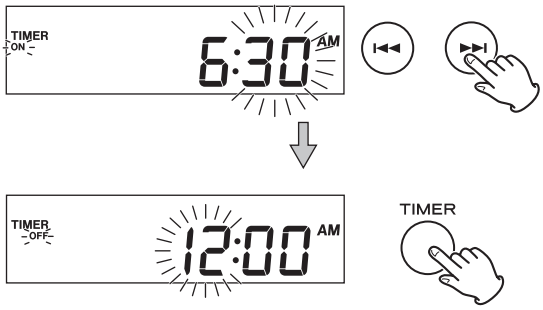
- 7秒以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。その場合は**1**からやり直してください。

2 スキップボタン(I◀◀/ ▶▶I)を押して開始時刻(時)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



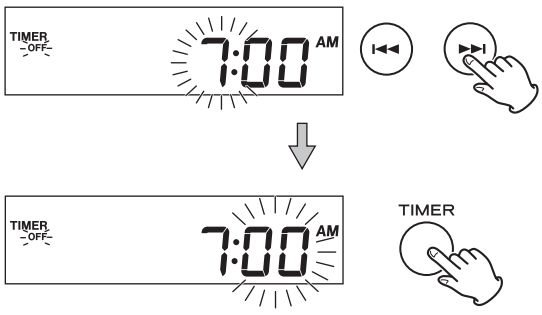
「分」表示が点滅します。

3 スキップボタン(I◀◀/ ▶▶I)を押して開始時刻(分)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



TIMER(タイマー)インジケーターが点灯し、OFF(オフ)インジケーターと「時」表示が点滅します。

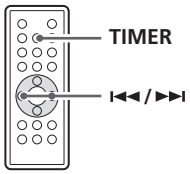
4 スキップボタン(I◀◀/ ▶▶I)を押して終了時刻(時)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



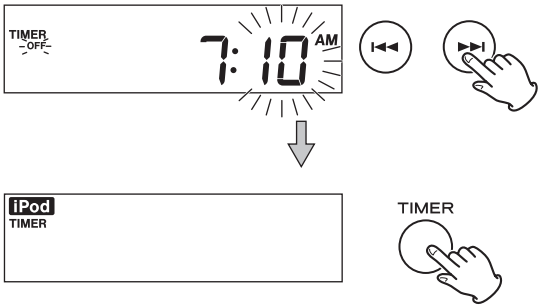
「分」表示が点滅します。

次ページに続く→

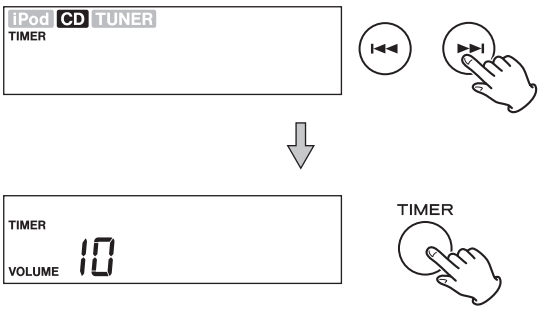
タイマー設定（続き）



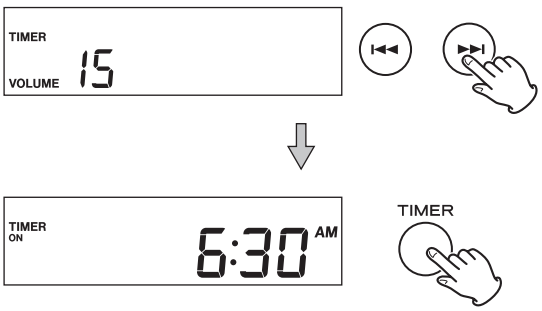
5 スキップボタン(I◄◄/ ►►I)を押して終了時刻(分)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



6 スキップボタン(I◄◄/ ►►I)を押してタイマー再生する機能(iPod、CD、またはTUNER)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



7 スキップボタン(I◄◄/ ►►I)を押してタイマー再生の音量を調節し、タイマーボタン(TIMER)を押す。



タイマー設定が終了し、設定した内容が順番に表示されます。

8 iPod、CDまたはラジオの準備をする。

6 でiPodを選んだ場合は、iPodをセットしてください。

6 でCDを選んだ場合は、ディスクをセットしてください。

6 でTUNERを選んだ場合は、放送局を受信してください。

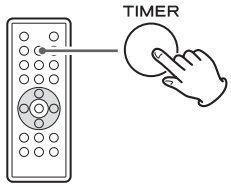
9 本体の電源がオンの場合は、電源ボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にする。

TIMER(タイマー)インジケーターと時刻が表示されます。
設定した開始時刻になると、電源がオンになりタイマー再生を始めます。終了時刻になるとスタンバイ状態に戻ります。

設定した開始時刻より前に手動で電源をオンにした場合、タイマーは機能しません。

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。
- タイマー動作時の音量は、小さい音で始まり、徐々に大きくなって30ページの**7**で設定した音量になります。
- **6**でiPodを選んだのにタイマーの開始時刻にiPodがセットされていなかった場合、または、**6**でCDを選んだのにディスクがセットされていなかった場合、本機はラジオを受信します。
- **6**でTUNERを選んだ場合(またはiPodやCDがセットされていなかった場合)、本機は電源を切る前に受信していた放送局を受信します。

タイマー機能のオン/オフ



タイマーボタン(TIMER)を軽く押すたびに、タイマーのオンとオフが切り換わります。タイマーをオンにすると、設定内容が順番に表示され、TIMERインジケーターが点灯します。

タイマーを使わないときは、タイマーボタン(TIMER)を軽く押してオフにしてください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。
- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ サブウーハーと本体の電源をオンにしてください。

音がしない。
- ➔ 機能切換ボタン(FUNCTION)を押して、聴きたい機能を選んでください。
- ➔ 音量ボタンを押して音量を調節してください。
- ➔ ヘッドホンの使用中はスピーカーからは音が出ません。ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。

リモコンで操作できない。
- ➔ 電源ボタン(STANDBY/ON)を押して、電源をオンにしてください。
- ➔ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ➔ 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。

テレビなどが誤動作する。
- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

雑音がする。
- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

iPod

iPodを本体にセットできない。
- ➔ お使いのiPodに合ったドックアダプタを本体にセットしてください。
- ➔ 本体とiPodのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

再生できない。
- ➔ iPodをいったん本体から外し、数秒経ってからもう一度セットしてみてください。
- ➔ iPodのホールドスイッチを解除してください。
- ➔ 最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

CD

音飛びがする。
- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 傷が付いたディスクは使わないでください。

再生できない。
- ➔ レーベル面を手前にして、ディスクの穴をポールにしっかりとはめ込んでください(20ページ)。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音済みのディスクを入れてください。
- ➔ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。また、ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

➔ スキップボタンを押して放送を受信してください。

➔ 受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えてみてください。

FMステレオ放送なのにモノラルになる。

➔ FMモードボタン(FM MODE)を押して「ステレオ受信」に切り換えてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

お手入れ

表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

アンプ部

スピーカー出力 . . . . . 5W+5W
サブウーハー出力. 15W
入力感度 300mV
周波数特性. . . . . 50Hz～20kHz

FMチューナー部

受信周波数(FM) . . . . . 76MHz ～90MHz
感度(S/N 30dB) 20dBμV/m

AMチューナー部

受信周波数(AM) . . . . . 522kHz～1,629kHz
感度(S/N 20dB) 54dBμV/m

CDプレーヤー部

周波数特性 . . . . . 20Hz～20kHz(±1dB)
S/N比 55dB
ワウ・フラッター . . . . . 測定限界値以下

スピーカー部

ユニット. . . . . フルレンジフラットタイプ
インピーダンス 4Ω

サブウーハー部

インピーダンス 8Ω

一般

電源 100V, 50-60Hz
消費電力. 30W
外形寸法(幅×高さ×奥行、突起部を含む)
　本体. . . . . 160 x 226 x 86 mm
　スピーカー　. . . . . 各142 x 226 x 70 mm
　サブウーハー. . . . . 160 x 245 x 335 mm
　ドック(ケーブルを除く). . . . . 80 x 28 x 67 mm

ヘッドホン出力端子 . φ3.5mmステレオミニジャック×1
音声入力端子. . . . . φ3.5mmステレオミニジャック×1

質量

本体. 1kg
スピーカー 各0.6kg
サブウーハー 5.3kg
ドック 0.2kg

付属品

リモコン(RC-1090)×1
リモコン用コイン型リチウム電池(CR2032)×1
ドック×1
ドックアダプタ×8(注)
ドック用カバー×1
サブウーハーケーブル×1
スピーカーケーブル×2
AMループアンテナ×1
壁掛け用ブラケット(本体用×1、スピーカー用×2)
木ネジ×10
プラグ×10
型紙×1
ステレオミニプラグケーブル×1
取扱説明書(保証書付き)×1
簡単接続ガイド×1

注：出荷時は60GB (color)+Photo 40GB/60GBがドックにセットされています。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

32～33ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD-X10i
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
ナビダイヤル 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

この製品については、CP部にお問い合わせください。受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5081 / FAX：0422-52-6783

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0407·MA-1099A